

# 後期基本計画

基本計画は、基本構想に提示した将来像の実現を目指し、施策の大綱(柱)毎に施策の展開を示すとともに、市民と共に歩む10年後の望ましい姿と行政の主な取り組みを記載しています。

また、施策の大綱(柱)を横断的、有機的に連携させながら、戦略的に取り組む内容を重点プロジェクトとして位置付けし、積極的に挑戦する施策を示しています。

さらに、地域別まちづくり方針では、個性豊かな地域づくりを進めるため、地域づくりに参加するためのテーマを示しています。

## 構成

- 1 後期基本計画策定の趣旨
- 2 後期基本計画の計画期間
- 3 重点プロジェクト
- 4 施策の展開(第1章～第6章)
- 5 地域別まちづくり方針



## 後期基本計画の策定にあたって

### 1 後期基本計画策定の趣旨

大崎市では、平成19年12月に総合計画・基本構想と基本計画を策定し、将来像である「宝の都(くに)・大崎 ～ずっとおおさき・いつかはおおさき～」の実現に向けたまちづくりを推進しています。

前期基本計画においては、戦略的アプローチとして「大崎20万都市への挑戦」「おおさき産業革命の推進と一万人雇用機会の創出」「大崎市流地域自治組織の確立」という3つの重点プロジェクトを掲げ、各分野において施策を展開してきました。

このたび、平成23年度で前期5年が経過したことから、これまでの取り組みを踏まえ、東日本大震災を始めとした社会情勢の変化や新たな行政課題などに対し、柔軟かつ的確に対応していくため、後期基本計画を策定するものです。

### 2 後期基本計画の計画期間

後期基本計画の計画期間は、平成24年度から平成28年度までの5年間とします。

### 3 重点プロジェクト(戦略的アプローチ)

重点プロジェクト(戦略的アプローチ)は、基本構想で定めた将来像の実現に向けて取り組むべき各種施策を網羅した基本計画を、横断的、有機的に連携させながら、戦略的に取り組む施策を示します。

後期基本計画では、「宝の都(くに)・大崎」の実現に向けて、「大崎20万都市への挑戦」「大崎ブランドの確立と新産業の創造」「大崎市流地域自治組織の確立」「真の豊かさ 大崎の復興」の4つの重点プロジェクトに積極的に挑戦します。

# 重点プロジェクト(戦略的アプローチ)

## 1 大崎20万都市への挑戦

### ◇プロジェクトの目的

全国に誇れる本市の交通基盤などの都市機能や地域資源を活かすことによる経済波及効果を高め、本市が積極的に人口増加に取り組む姿勢を内外にアピールすることによって相乗効果を図り、本市発展の原動力として活力ある社会を実現します。

### ◇重点的に取り組む施策

- |                         |                       |
|-------------------------|-----------------------|
| 1 子育て環境の整備              | 2 高度な都市機能の整備          |
| 3 産業の振興                 | 4 地域の特性を活かした定住・移住への支援 |
| 5 健康づくりの推進              | 6 観光の振興やグリーンツーリズムの推進  |
| 7 近隣市町村および大学などとの政策連携の推進 |                       |

### ◇プロジェクトの目標

#### (1) 定住人口

- 人口減少が進む中で、「ずっと住み続けたい」、「いつかは住んでみたい」と感じられるまちづくりを推進し、定住人口の維持・増加に挑戦します。

項目	現状(H24)	目標(H28)
○定住人口の維持・増加	136,100人	140,000人

※現状は、平成24年4月1日現在の住民基本台帳人口

項目	現状(H22)	目標(H28)
○市民意識調査 ・「住み続けたい」と感じている市民の割合の増加	61.7%	65.0%

#### ▷主な取り組み

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童保育施設の整備・充実</li> <li>・医療を受けやすい環境の充実</li> <li>・教育環境の整備・充実</li> <li>・市民病院、図書館などの都市機能の整備</li> <li>・地域をつなぐ幹線道路の整備</li> <li>・定住を支える雇用の場の創出</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・定住・移住者向け情報の提供</li> <li>・疾病予防、重症化予防の推進</li> <li>・年齢や身体状況に応じた健康づくりの推進</li> <li>・定住自立圏構想(共生ビジョン)の推進</li> <li>・大学などとの連携協力事業の推進</li> </ul> |
|---|---|

#### (2) 交流人口

- 本市の豊富な地域資源を最大限に活用しながら、観光・交流から定住につなげていくため、「行ってみたい」と感じられる取り組みを推進し、交流人口の拡大に挑戦します。

項目	現況(H23)	目標(H28)
○交流人口の拡大	44,031人	60,000人

※交流人口は、交流人口換算数

#### ▷主な取り組み

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・着地型観光の推進と商品開発</li> <li>・グリーンツーリズムの推進</li> <li>・各種誘客事業の推進</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内・国際都市交流の推進</li> <li>・観光、交流、定住などの情報発信</li> <li>・二地域居住の推進</li> </ul> |
|---|--|

## 2 大崎ブランドの確立と新産業の創造

### ◇プロジェクトの目的

市民生活を支える産業の振興を図るとともに、新産業の創造や大崎ブランド\*の確立に取り組むことにより、地域経済の活性化と雇用の確保を推進します。また、シティプロモーション\*を展開し、「大崎市」の認知度を高めると同時に、市民の愛着と誇り、市外の方に憧れと魅力を感じてもらえる活力ある地域社会を目指します。

### ◇重点的に取り組む施策

- 1 自然と共生する持続可能な農業の振興
- 2 森林の再生と循環型社会を可能にする林業の振興
- 3 にぎわいと雇用を生み出す商工業の振興
- 4 笑顔と魅力でもてなす観光の振興
- 5 多様な連携による産業の創造
- 6 再生可能エネルギーによる産業の創造
- 7 大崎ブランドの確立

### ◇プロジェクトの目標

#### ○市内総生産額

- ・既存の農林業、商工業、観光業の振興を図るとともに、自動車関連企業や内発型産業につながる企業誘致を積極的に推進し、産・学・官連携や農商工連携、6次産業化による商品開発や新たな産業の創造、再生可能エネルギーによる産業の創造を進め、地域経済の活性化と雇用の確保を推進します。
- ・「大崎市」の魅力あるイメージを形成し、認知度を高めるため、地域資源のブランド化に取り組むとともに、戦略的なシティプロモーションを展開することにより、大崎ブランドの確立を図ります。

項目	現況(H21)	目標(H28)
○市内総生産額の増加	4,066億円	4,512億円

### ▷主な取り組み

<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然と共生するこだわり農畜産物の生産の促進</li> <li>・農畜産物のブランド化や多様な販売戦略の促進</li> <li>・地場産農畜産物の地産地消と食農教育の推進</li> <li>・地場産木材の利用の促進</li> <li>・商工業者の経営安定化支援の促進</li> <li>・産業団地の整備の促進</li> <li>・中心市街地・地域商店街活性化の促進</li> <li>・企業誘致による雇用確保の推進</li> <li>・コミュニティビジネス*による取り組みの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型観光キャンペーンなどの機会を捉えた地域の魅力のPRの促進</li> <li>・観光客のニーズに応える観光商品開発の促進</li> <li>・地域の歴史や伝統文化、まつりなどの観光資源の掘り起しの推進</li> <li>・産・学・官の連携による産業の創造の促進</li> <li>・農商工連携や6次産業化による内発型産業創造の推進</li> <li>・再生可能エネルギーによる産業の創造の促進</li> <li>・大崎ブランドを確立するためのシティプロモーションの促進</li> </ul>
---	--

\*大崎ブランド…地域イメージと地域資源のブランド化を図り、戦略的なシティプロモーションを展開することにより、本市の市場における優位性を確保する独自の確立されたブランドのこと。

\*シティプロモーション…本市独自の魅力的で物語性のある地域イメージと地域資源を創造し、それらのブランド化を図り、戦略的な情報発信を行うこと。

\*コミュニティビジネス…地域の課題について、地域住民が主体となってビジネスの手法により解決を図る取り組みのこと。

### 3 大崎市流地域自治組織の確立

#### ◇プロジェクトの目的

大崎市流地域自治組織とは、「地域のことは地域で考え、地域で解決していく仕組み」です。地域と行政の協働関係を明確にしながら、継続性を備えた自立性の高い地域自治を築いていくため、大崎市流地域自治組織の取り組みを推進していきます。本市では、市民との協働により自立した地域社会を実現します。

#### ◇重点的に取り組む施策

- |                     |                              |
|---------------------|------------------------------|
| 1 情報収集・発信システムの構築    | 2 総合支援施設および活動拠点施設の整備         |
| 3 人材育成システムの構築       | 4 経営的な視点の構築                  |
| 5 全庁横断的な取り組みの推進     | 6 市民公益活動*団体などとの連携および団体の育成・支援 |
| 7 (仮称)協働のまちづくり条例の制定 |                              |

#### ◇プロジェクトの目標

項目	現状(H22)	目標(H28)
○市民意識調査 ・「社会参加」をしたことがある市民の割合の増加	54.0%	60.0%

\*市民公益活動…市民が主体となり、営利を目的としない公益的な課題解決を目指す、自主的・自発的な活動と位置付けます。

### 4 真の豊かさ 大崎の復興

#### ◇プロジェクトの目的

東日本大震災からの復旧・復興は本市の重要課題です。震災からの単なる復旧にとどまらず、さらなる発展を目指すとともに、安心して暮らせる災害に強いまちづくりを進め、内陸の復興モデルの実現に向け、震災からの復旧・復興に全力で取り組みます。

#### ◇重点的に取り組む施策

- |              |             |
|--------------|-------------|
| 1 震災からの復旧・復興 | 2 防災拠点の整備   |
| 3 防災・減災対策の強化 | 4 自治体間連携の推進 |
| 5 原発事故への対応   |             |

#### ◇指標の考え方

○震災復興計画の進行管理とあわせ、市民意識調査により適切な指標の設定を行います。